

ニチダイ (コード 6467)

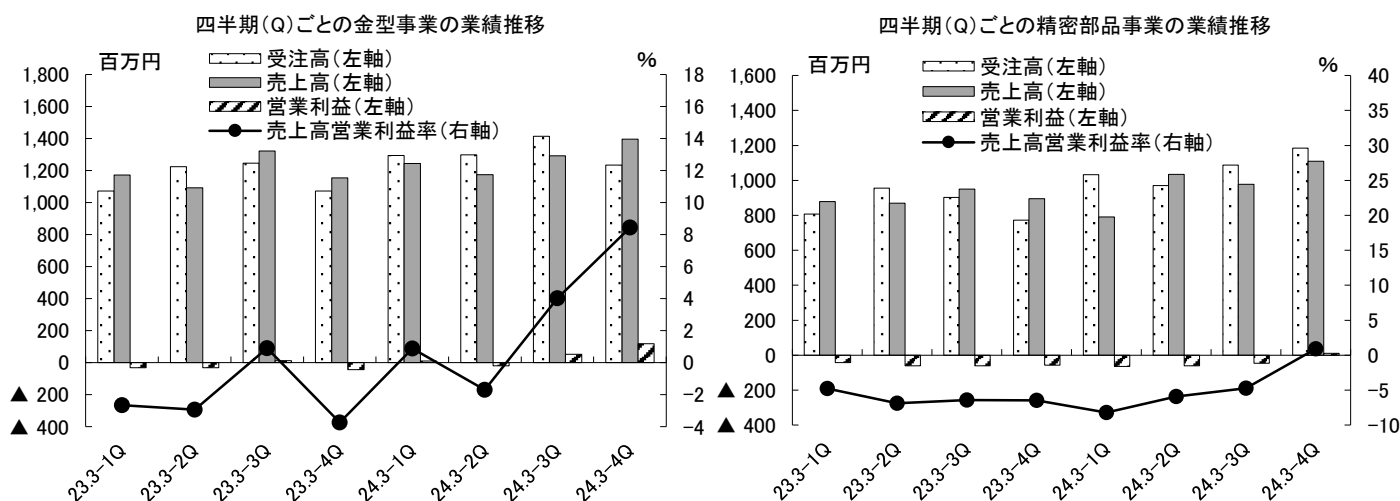
◆通期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	12,301	217	▲68.4	8.0	699	▲586	504	3,767
23.3	10,847	▲202	▲53.6	6.0	208	▲467	89	3,800
24.3	11,323	▲42	5.0	予6.0	740	▲491	▲1,133	3,046
25.3予	11,900	80	5.5	6.0	-	-	-	-

◆各決算期の第2四半期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	6,788	255	15.7	5.0	380	▲310	346	3,573
23.3	5,248	▲143	▲16.7	4.0	190	▲276	▲89	3,825
24.3	5,426	▲188	▲18.6	4.0	184	▲168	220	4,146
25.3予	5,870	2	▲2.2	2.0	-	-	-	-

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



24年3月期の業績概況…24年3月期の業績は、フィルタ事業は軟調に推移したものの、部品供給不足の解消に伴う自動車生産の回復傾向を受け、金型事業及び精密部品事業が下半期にかけて堅調に回復に転じ、前年と比べて売上高は約4%増加した。利益面では、精密部品事業で通期赤字となったが、金型事業及び精密部品事業で改善。全体の営業損失の金額は縮小した。

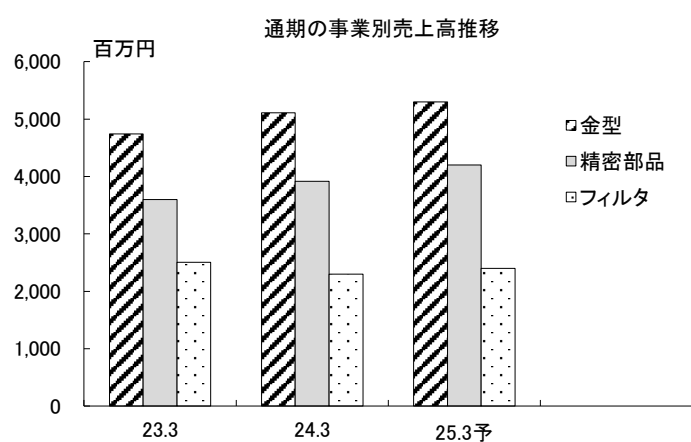
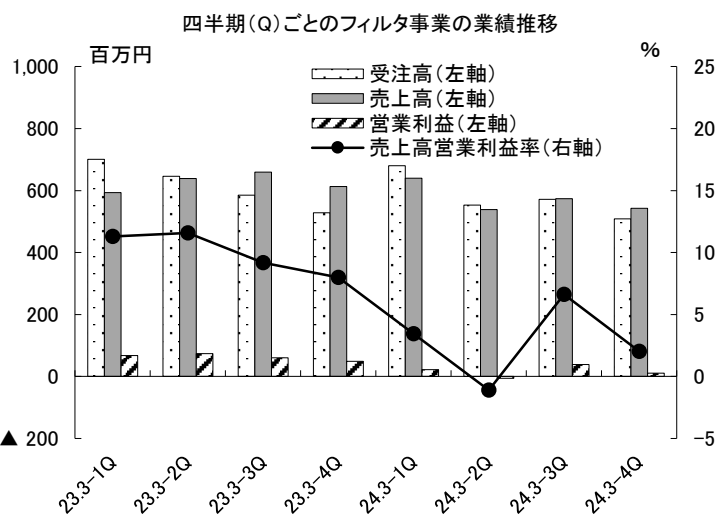
当期の売上高は113億2,300万円(23年3月期比4.4%増)、営業損失が4,200万円(23年3月期は2億200万円の損失)、経常利益が6,400万円(同6,500万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)が4,400万円(同4億8,400万円の損失)となった。経常利益については、営業外収益において為替差益5,900万円(23年3月期比22.9%増)を計上し、当期純利益については、23年3月期に特別損失に計上した減損損失(2億6,800万円)が当期には無かったことなどから、それぞれ黒字となった。

事業セグメント別で、受注高は、金型事業52億4,300万円(23年3月期比13.5%増)、精密部品事業42億7,600万円(同24.4%増)、フィルタ事業23億1,500万円(同5.9%減)。売上高は、金型事業51億1,000万円(23年3月期比7.7%増)、精密部品事業39億1,500万円(同8.8%増)、フィルタ事業22億9,700万円(同8.3%減)。経常利益は、金型事業1億6,200万円の黒字(23年3月期は9,400万円の損失)、精密部品事業1億6,300万円の損失(同2億2,200

万円の損失)、フィルタ事業 6,700 万円 (23 年 3 月期比 73.3%減) となった。事業セグメント別の国内外売上では、金型事業が国内 7.1%増、海外 8.9%増に、精密部品事業が国内 16.5%増、海外横ばいに、フィルタ事業が国内 6.3%減、海外 14.1%減になった。金型事業では、国内においては主力ユーザー向けが好調に推移し、海外においては大口案件の寄与で増加。四半期ベースでみると第 3 四半期 (23 年 10~12 月) 以降、業績は著しく回復した。精密部品事業では、海外で低水準で推移したものの、国内においてターボチャージャー部品の主力機種が増加。四半期ベースでは第 4 四半期 (24 年 1~3 月) に黒字に浮上した。一方、フィルタ事業については、国内での需要一巡や、海外では特に中国の設備投資の低迷で減少。四半期ベースでみると第 3 四半期に業績は一旦回復したものの、第 4 四半期には再び低下した。

キャッシュ・フロー (以下、CF) の状況については、当期末の現金及び現金同等物残高は 30 億 4,600 万円 (23 年 3 月期末比 19.8%減) となった。営業活動 CF は、税金等調整前当期純損益の黒字化 (23 年 3 月期: 3 億 3,300 万円の損失。当期: 6,700 万円の黒字) に加え、棚卸資産及び仕入債務の改善などにより、7 億 4,000 万円の収入 (23 年 3 月期比 255.8%増) になった。投資活動 CF は、有形固定資産の取得による支出 6 億 6,200 万円 (同 56.1%増)、定期預金の預入及び払戻による差引収入額 1 億円 (23 年 3 月期は 100 万円の支出) などにより、4 億 9,100 万円の支出 (23 年 3 月期比 5.1%増) になった。財務活動 CF は、配当金の支払額 5,400 万円 (同 15.6%減)、長期借入金の借入れ及び返済による差引支出額 2 億 1,600 万円 (23 年 3 月期は長短借入金の借入れ及び返済による差引収入額 4 億 3,900 万円)、子会社株式の取得による支出 8 億 1,500 万円 (同無し) などにより、11 億 3,300 万円の支出 (同 8,900 万円の収入) になった。

25 年 3 月期の業績見通し…25 年 3 月期の業績については、売上高 119 億円 (前期比 5.1%増)、営業利益 8,000 万円、経常利益 1 億円 (同 54.0%増)、当期純利益 5,000 万円 (同 11.1%増) の見通し。事業別の売上高予想は、金型事業 53 億円 (同 3.7%増)、精密部品事業 42 億円 (同 7.3%増)、フィルタ事業 24 億円 (同 4.5%増) となっている。



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。